

今後の災害福祉支援(DWAT)のあり方 ～R6能登半島地震の活動をふまえて～

新潟大学危機管理本部 危機管理センター

田村圭子

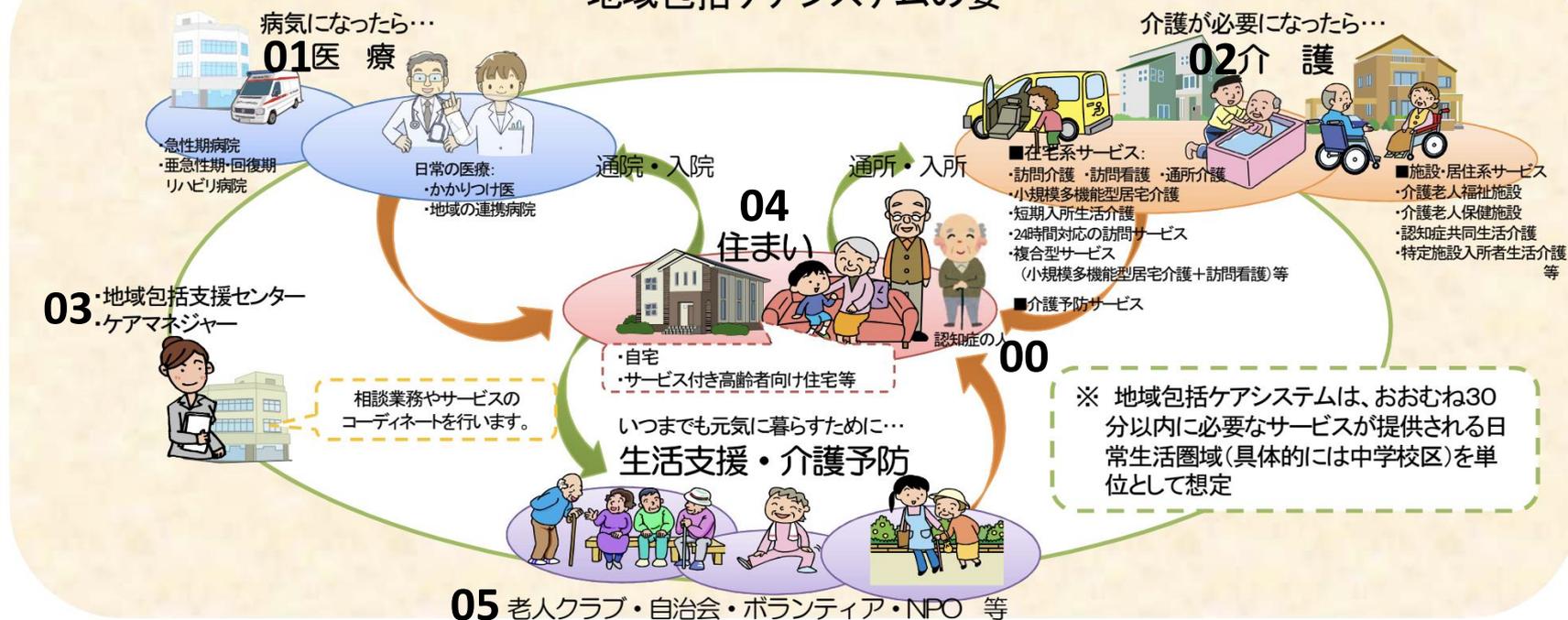
本資料は令和6年度社会福祉推進事業「令和6年能登半島地震に係る災害派遣福祉チーム(DWAT)の活動や介護職員等の応援派遣の検証」委員会の検証過程から知り得た情報を田村の見解に基づいて作成。



地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差**が生じています。
地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基つき、地域の特性に応じて作り上げていく**ことが必要です。

地域包括ケアシステムの姿



地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基つき、地域の特性に応じて作り上げていく

1 医療機関

- ・建物・医療器具の損傷
- ・断水等のインフラ途絶
- 救命・救急ニーズが爆発的に増加

被災

高齢者の住まい

- ・建物倒壊・損傷
- ←能登半島は築40年以上建物割合が高い*
- ・流出・焼失
- 在宅での生活困難

被災

2 介護施設・事業所

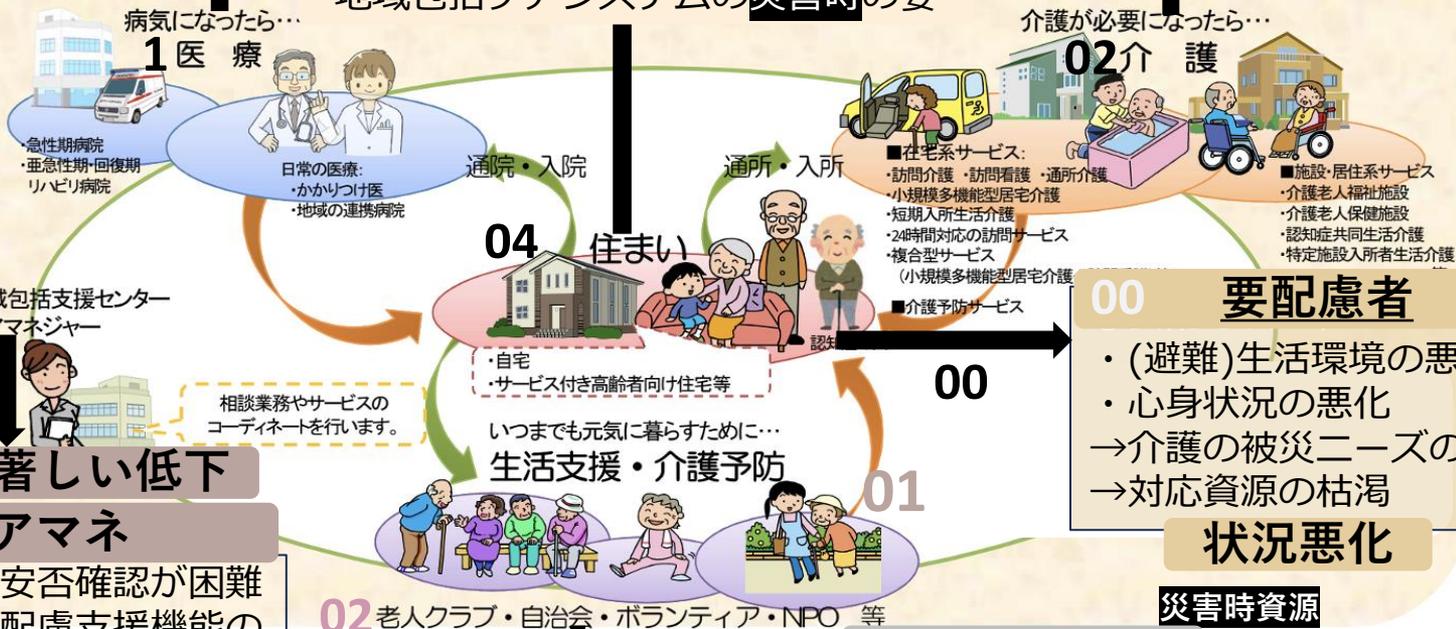
- ・建物損傷
- ・断水等のインフラ途絶
- サービス提供不可
- 緊急避難的入所受入困難

被災

ニーズの上昇 ↔ 機能不全

ニーズの上昇 ↔ 機能不全

地域包括ケアシステムの災害時の姿



機能の著しい低下

3 ケアマネ

- ・利用者の安否確認が困難
- ・地域の要配慮支援機能の把握困難

4 地域包括

- ・事業所委託
- 被災施設・事業所対応
- ・市町村営
- 災害対応

02 地域資源

- ・自らの被災
- ・対応ニーズの増加(要配慮者支援以外)
- 支援力の低下

状況悪化

災害時資源

避難所

- 発災当初
- ・(避難)環境の悪化
- ・ピーク時約400カ所
- 34千人が避難
- ・その後、環境改善
- 避難長期化

福祉避難所

- ・福祉避難所の多くが非開設**
- ←福祉施設が被災
- 人的資源の枯渇

不十分

1 医療機関

- ・救命ニーズへの対応
- ・医療機関の機能確保支援

被災

高齢者の住まい

- ・建物倒壊・損傷
←能登半島は築40年以上建物割合が高い¹⁾
- ・流出・焼失
→在宅での生活困難

被災

2 介護施設・事業所

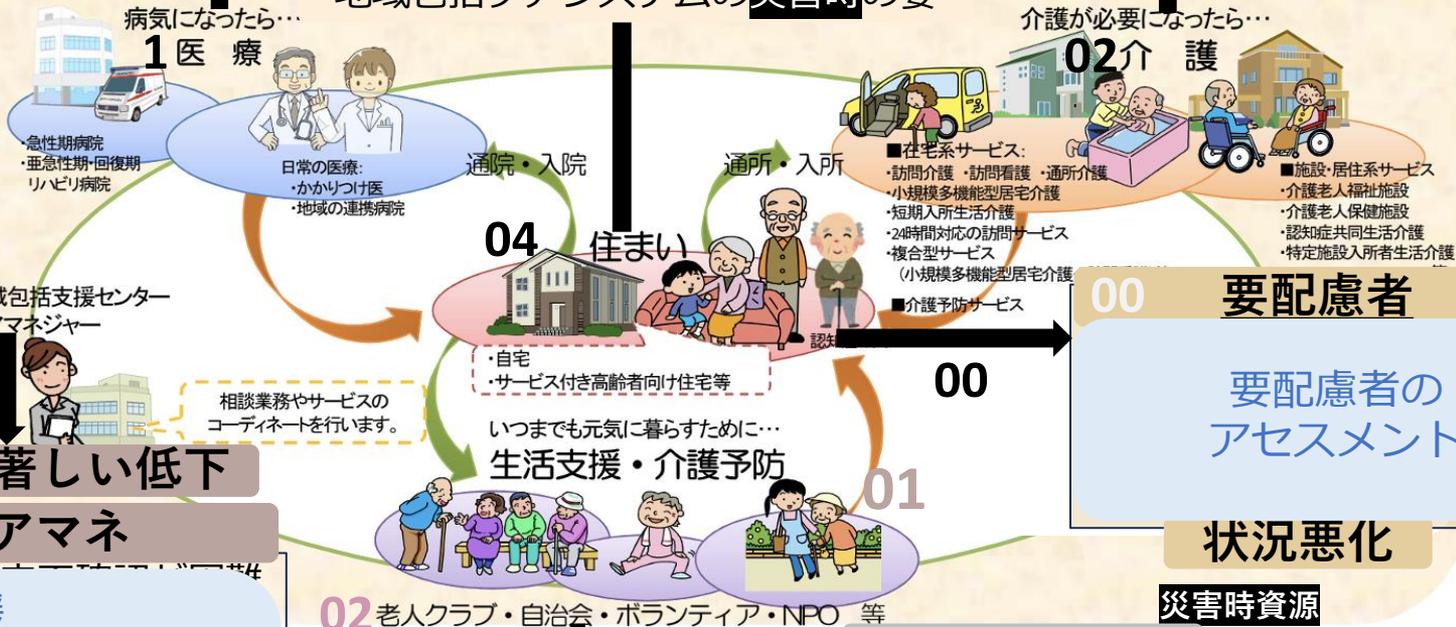
- ・対応のための介護人材の派遣
- ・入浴支援

被災

ニーズの上昇 ↔ 機能不全

ニーズの上昇 ↔ 機能不全

地域包括ケアシステムの災害時の姿



機能の著しい低下

3 ケアマネ

間接支援

- ・要配慮者に必要な支援調整
- ・社会福祉施設等と連携
- ・相談支援

被災

02 地域資源

- ・自らの被災
- ・対応ニーズの増加 (要配慮者支援以外)
→支援力の低下

避難所

福祉避難所

- ・避難所の環境整備 + 立上げ
- ・巡回・アセスメント・相談
- ・行政・施設管理者他支援主体と連携
- ・その後、環境改善
避難長期化
- ・入浴支援

積極的2次避難呼びかけ

移動 ↓ スクリーニング

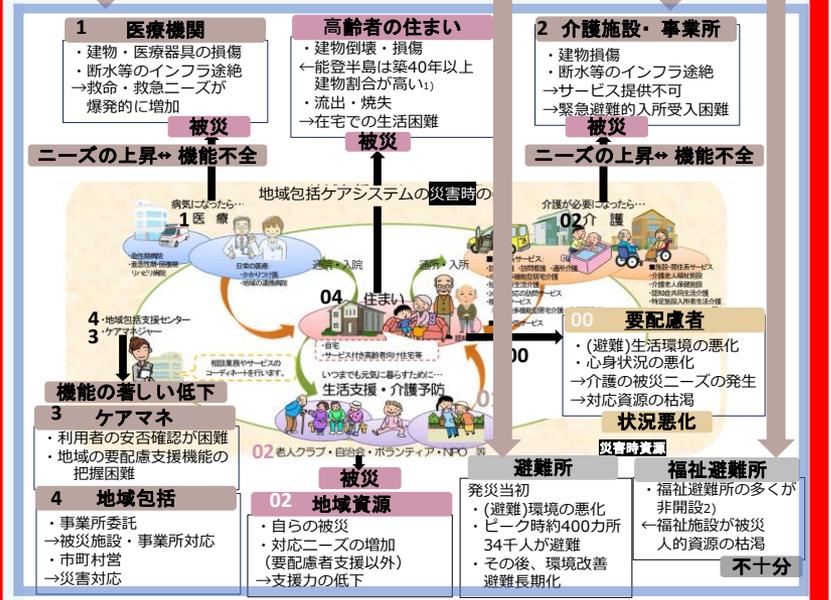


- ①1/ 8いしかわ総合スポーツセンター
- ②1/13石川産業展示館

- ③1/18小松総合体育館



スクリーニング
 ・医療依存度の高い被災者
 ・介護が必要な要配慮者



1.5次避難所 ①メインアリーナ
 半島からの一次滞在施設
 ・1~2日滞在イメージ
 →要配慮者を中心に長くなる

救急病院
 ・被災地から病院に搬送されるケースもあり
 ・医療的に重症な被災者

1.5次避難所 サブアリーナ
 介助や見守りが必要な高齢者
 ・被災施設の避難先として開始

2次避難所
 ・石川県内、富山県、愛知県等の他県

一般の避難者 → ホテル・旅館
 要介護者 → 福祉施設
 医療ケアが必要 → 介護療養施設

1.5次避難所

(いしかわ総合スポーツセンター)

● メインアリーナ (1/8開設)

- ・ 入所者：要配慮者（高齢者・障害者・未就学児）とその同伴者を優先
- ・ 収容数：最大約500人（約240テント）
※累計入所者数1,166人（ピーク時265人）



《一時待機ステーション》

● マルチパーパス (1/10開設)

- ・ 入所者：介助や見守りが必要な高齢者
(被災地の施設入所者を中心に受け入れ)
- ・ 収容数：最大40人（床）
※累計入所者数161人（ピーク時37人）

● サブアリーナ (1/15開設)

- ・ 入所者：介助や見守りが必要な高齢者（マルチと同様）
(メインでの生活が困難と判断された方も対象)
- ・ 収容数：最大120人（床）
※累計入所者数336人（ピーク時110人）





避難所 奥能登

1次避難所

避難所巡回・介助 (DWAT)

期間：1/10～3/29(79日間)
のべ809名
内容：相談支援、避難所退所支援、
介助等による二次災害防止
場所：1次避難所

災害福祉支援ネットワー
ク中央センター
(全国社会福祉協議会)

福祉避難所・施設

入浴介助・資機材提供

内容：給水車+入浴車+介助者
期間：56日間17社62名
介護浴槽の提供
→入浴=からだところの健康維持
健康効果+緊張の緩和

民介協 在介協
全国介護事業者協議会 日本在宅介護協会

各種別協議会の活動①

2次避難所 金沢市以南

金沢市以南施設

避難者受入施設支援

期間：1/15～7/31(199日間)
のべ292名
内容：介護ケア支援
場所：社会福祉施設等18施設

災害福祉支援ネットワー
ク中央センター
(全国社会福祉協議会)

2次避難所

福祉避難所巡回・ケア

方法：ブロック支援
(1ヶ月ごとにブロックを変更)
期間：6/11～9/14
内容：食事・排泄介助等のケア
場所 金沢朱鷺の苑福祉避難所

経営協

全国社会福祉法人経営者協議会

1.5次避難所 メインアリーナ

立上げ・避難者相談・ケア (DWAT)

期間：1/8～6/30(175日間) のべ764名
 内容：相談支援、避難所退所支援、介助等による二次災害防止、サ^ブ応援介護職員の配置調整等(1月)等

災害福祉支援ネットワーク中央センター
 (全国社会福祉協議会)

避難所巡回・生活支援

空間的機能配置・設営
 場所：1.5次避難所メインアリーナ
 内容：身体・服薬介助、下配膳等の生活支援

介護福祉士会
 日本介護福祉士会

1.5次避難所 サブアリーナ

避難所巡回・ケア

食事・排泄介助等のケア
 期間：1/10～3/3まで54日間
 のべ950名
 →福祉避難所・受入施設の設営

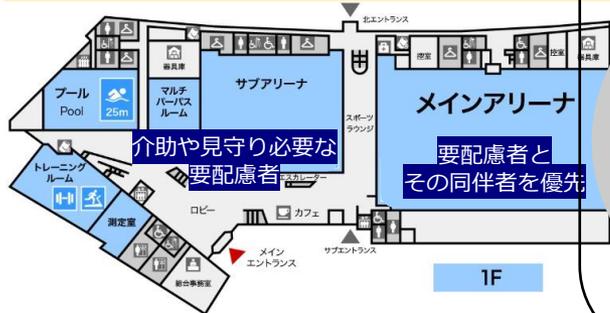
介護福祉士会
 日本介護福祉士会

避難所巡回・ケア

方法：ブロック支援
 (1ヶ月ごとにブロックを変更)
 期間：3～6月末
 内容：食事・排泄介助等のケア

経営協

全国社会福祉法人経営者協議会



各種別協議会の活動②

被災した 介護施設・事業所

高齢者・障害者施設の 機能維持

期間：1/15～7/31(199日間)
 のべ1,208名

内容：介護ケア支援
 場所：社会施設45施設

災害福祉支援ネットワーク
 中央センター
 (全国社会福祉協議会)

高齢者施設の機能維持

職員被災→出勤がかなわない
 内容：被災施設の入所者受け入れ支援
 11施設108チームのべ317人
 →自立生活困難被災者への介護の提供継続

老施協

全国老人福祉施設協議会

知的施設の機能維持

期間：2212日間のべ181名
 内容：被災施設・受け入れ施設支援
 重度・24時間ケアの対象者含む
 場所：知的障害者2施設
 →知的障害者への介護・介助の提供維持

日知協

日本知的障害者福祉協会

輪島市 (2月12日～3月29日)

- ＜主に巡回型の避難所支援＞
- ・指定避難所の要配慮者アセスメント
- ・被災者の生活の場が変わるフェーズにおける支援活動

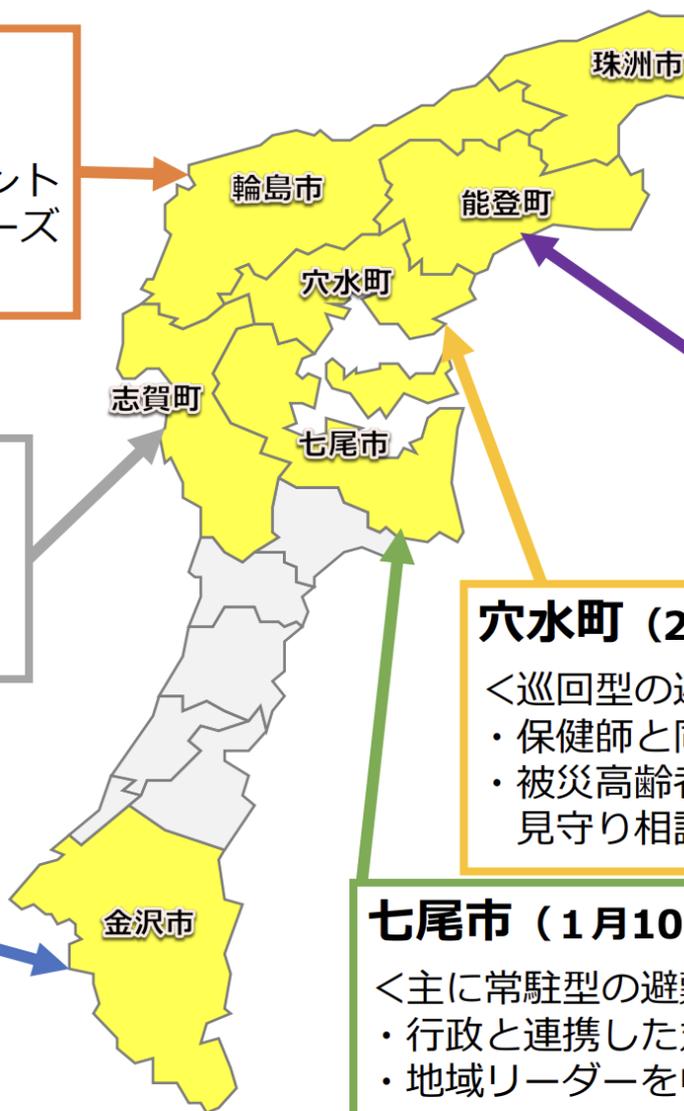
志賀町 (1月11日～3月16日)

- ＜主に常駐型の避難所支援＞
- ・行政との関わり方
- ・地域リーダー業務の引継ぎ

1.5次避難所

(1月8日～6月30日)

- ＜福祉避難所的活動＞
- ・多数チーム同時活動
- ・入退所が流動的
- ・他支援チームとの調整



珠洲市

(3月5日～3月24日)

- ＜巡回型の避難所支援＞
- ・保健師と同行巡回 (福祉ニーズ確認)

能登町

(1月14日～3月30日)

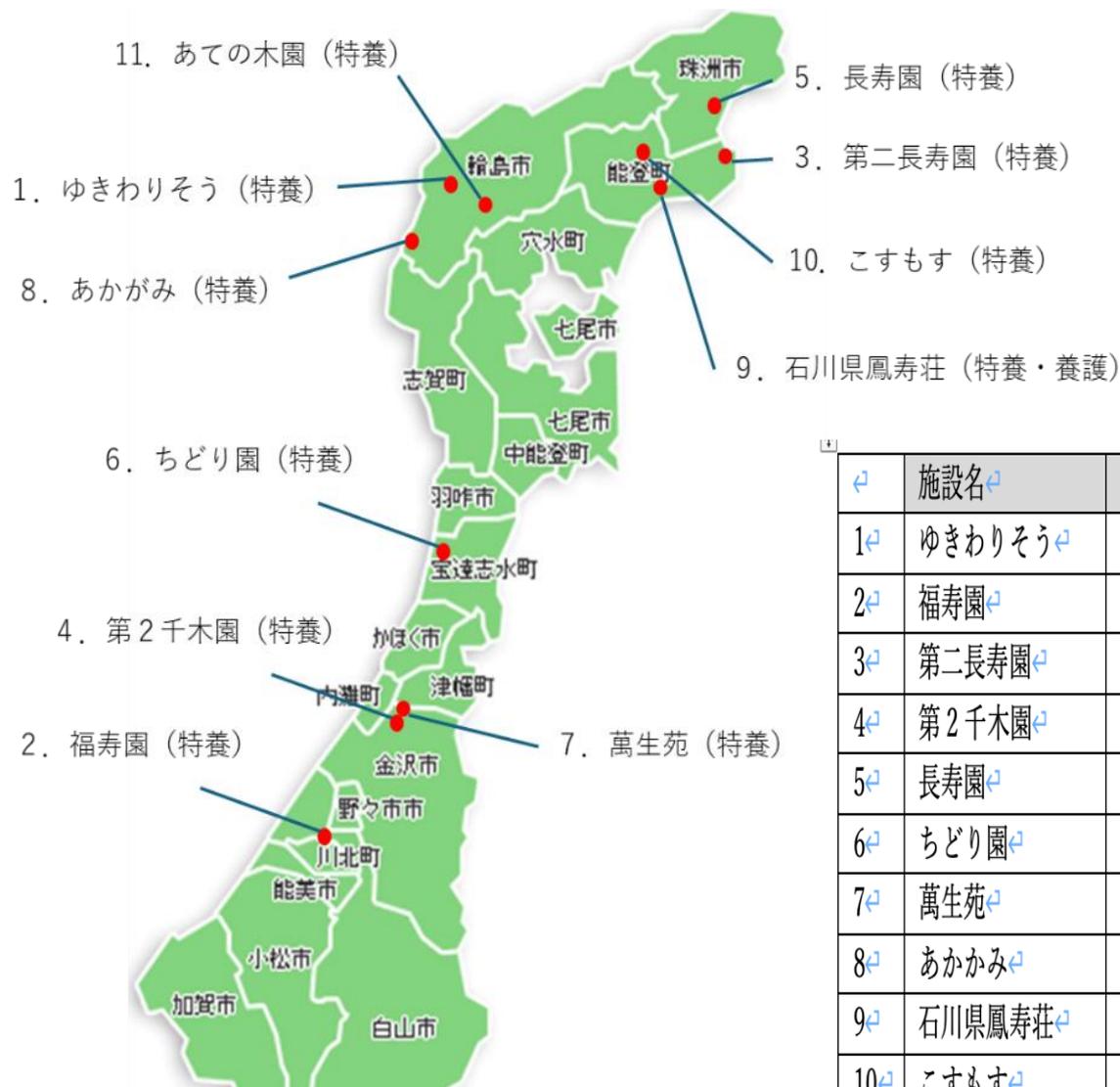
- ＜避難所支援、福祉避難所支援＞
- ・避難所環境整備
- ・福祉避難所の立ち上げ、運営支援

穴水町 (2月19日～2月29日)

- ＜巡回型の避難所支援＞
- ・保健師と同行巡回 (福祉ニーズ確認)
- ・被災高齢者等把握事業、被災者見守り相談支援事業との関係性

七尾市 (1月10日～3月29日)

- ＜主に常駐型の避難所支援＞
- ・行政と連携した対応
- ・地域リーダーを中心とした活動



施設名	所在地	派遣事由	派遣開始日	回数
1. ゆきわりそう	輪島市	被災施設	2024/1/12(金)	19
2. 福寿園	白山市	受入施設	2024/1/12(金)	7
3. 第二長寿園	能登町	被災施設	2024/1/15(月)	1
4. 第2千木園	金沢市	受入施設	2024/1/17(水)	5
5. 長寿園	珠洲市	被災施設	2024/1/17(水)	2
6. ちどり園	宝達志水町	受入施設	2024/1/26(金)	4
7. 萬生苑	金沢市	受入施設	2024/1/26(金)	1
8. あかがみ	輪島市	被災施設	2024/1/29(月)	21
9. 石川県鳳寿荘	能登町	被災施設	2024/2/1(木)	7
10. こすもす	能登町	被災施設	2024/2/26(月)	37
11. あての木園	輪島市	被災施設	2024/11/4(月)	4

1.5次・2次避難所支援(経営協)

月	担当ブロック	のべ 派遣人数	派遣場所
3月	近畿ブロック	138人	1.5次避難所
4月	九州ブロック	98人	1.5次避難所
5月	北関東・信越ブロック	91人	1.5次避難所
6月	南関東・甲静ブロック	64人	1.5次避難所 第二金沢朱鷺の苑福祉避難所
7月(～8/3)	中国・四国ブロック	35人	第二金沢朱鷺の苑福祉避難所
8月	北海道・東北ブロック	29人	第二金沢朱鷺の苑福祉避難所
9月(～9/14)	東海・北陸ブロック※	12人	第二金沢朱鷺の苑福祉避難所

知的施設・

受け入れ先施設機能支援(日知協)

石川精育園 (穴水町)

- 奥能登最大の知的障害者施設
- 2/1~3/5 石川県精育園に支援
- 3/4~受け入れ先・石川県立錦城学園 (加賀市) に支援
- 2/1~6月末のべ69人の支援派遣

社会福祉法人 佛子園

- 障がい者支援施設「日本海倶楽部 (能登町) が被災
- 発災直後~7月のべ121人の支援派遣

派遣先	月	派遣者所属地方会	人数 (名)
石川県精育園	2月	愛知県知的障害者福祉協会	5
		岐阜県知的障害者支援協会	2
	3月	愛知県知的障害者福祉協会	10
		岐阜県知的障害者支援協会	8
		三重県知的障害者福祉協会	2
	4月	静岡県知的障害者福祉協会	3
		三重県知的障害者福祉協会	8
	5月	静岡県知的障害者福祉協会	1
		愛知県知的障害者福祉協会	1
		岐阜県知的障害者支援協会	4
		三重県知的障害者福祉協会	6
		滋賀県知的ハビィをもつ人の福祉協会	1
		大阪知的障害者福祉協会	1
	6月	静岡県知的障害者福祉協会	3
		愛知県知的障害者福祉協会	5
		岐阜県知的障害者支援協会	3
		三重県知的障害者福祉協会	1
滋賀県知的ハビィをもつ人の福祉協会		1	
京都知的障害者福祉施設協議会		1	
大阪知的障害者福祉協会		1	
奈良県知的障害者施設協会		1	
和歌山県知的障害者福祉協会	1		
③ 佛子園	1月	富山県知的障害者福祉協会	6
		福井県知的障害者福祉協会	2
	2月	新潟県知的障害者福祉協会	1
		富山県知的障害者福祉協会	15
	3月	福井県知的障害者福祉協会	12
		新潟県知的障害者福祉協会	4
		富山県知的障害者福祉協会	14
	5月	福井県知的障害者福祉協会	10
		神奈川県知的障害施設団体連合会	12
		神奈川県知的障害施設団体連合会	17
神奈川県知的障害施設団体連合会		19	
合計			181

入浴介助・資機材提供(民介協・在介協)

●入浴支援活動



▲被災した特養の浴室にお風呂を設置



▲養護老人ホームの居室内で入居者・避難者向けに入浴支援



▲福祉避難所での入浴支援



能登町の浄水場で給水車に給水

https://zaitaku-kyo.gr.jp/wp-content/uploads/2024/02/katsudouhoukoku_20240216.pdf

給水車から訪問入浴車に水を供給▶

奥に見える給水車から、手前にある訪問入浴車のタンクに水を送り続けています。



各種別協議会の活動・詳細⑥

1.5 次避難所

・メインアリーナ:巡回・生活支援

・サブアリーナ:巡回・ケア

介護福祉士会

日付	人数(県外)	人数(県内)	合計	トピック
1月10日	0	7	7	マルチパーパスルーム内に施設避難者一時待機ステーション開設。要介護高齢者の受入開始
1月11日	0	10	10	
1月12日	0	11	11	
1月13日	8	17	25	近隣県介護福祉士会(富山、福井、長野、岐阜)支援開始。サブアリーナにて要支援高齢者の受入開始
1月14日	7	17	24	
1月15日	7	10	17	
1月16日	7	15	22	
1月17日	7	12	19	
1月18日	5	20	25	
1月19日	13	16	29	全国に支援要請拡大
1月20日	10	21	31	
1月21日	10	17	27	
1月22日	12	14	26	
1月23日	10	10	20	
1月24日	11	9	20	
1月25日	12	9	21	
1月26日	8	0	8	
1月27日	10	4	14	
1月28日	7	0	7	
1月29日	11	3	14	
1月30日	15	0	15	
1月31日	18	0	18	
2月1日	19	0	19	
2月2日	17	0	17	
2月3日	16	0	16	
2月4日	17	0	17	
2月5日	16	0	16	
2月6日	19	0	19	
2月7日	21	0	21	
2月8日	16	0	16	マルチ入所者に対するシャワー浴開始。衣類クリーニング開始。
2月9日	19	0	19	
2月10日	18	0	18	
2月11日	19	0	19	
2月12日	20	0	20	
2月13日	21	0	21	電子レンジ加熱によりあたたかい食事の提供始まる
2月14日	20	0	20	
2月15日	15	0	15	
2月16日	21	0	21	
2月17日	20	0	20	民間訪問入浴の協力により介助浴槽⇒入浴始まる
2月18日	19	0	19	
2月19日	18	0	18	
2月20日	16	0	16	
2月21日	17	0	17	
2月22日	19	0	19	
2月23日	19	0	19	
2月24日	19	0	19	
2月25日	17	0	17	
2月26日	17	0	17	
2月27日	18	0	18	
2月28日	18	0	18	
2月29日	16	0	16	
3月1日	4	0	4	経営協メンバー(日中帯)へ引継ぎ
3月2日	5	0	5	サブ・マルチエリア統合
3月3日	4	0	4	3/3夜間対応終了をもって活動終了
計	728	222	950	

能登半島地震の経験を踏まえて

「災害時の福祉支援体制の整備に向けたガイドライン (2) チームの活動内容

現在のガイドライン

R6能登半島地震

①福祉避難所等への誘導——スクリーニング

DWAT：金沢市以南への2次避難搬送

②災害時要配慮者へのアセスメント

③日常生活上の支援

④相談支援

⑤避難所内の環境整備

被災者の直接支援

- ・避難所/1.5次避難所において「巡回」活動の中で実施。ラウンドと称し定期的実施
- ・災害関連死予防のための活動（例：定期的な体操等の実施）

⑥本部、都道府県との連携調整、
状況等の報告

⑦後続チームへの引き継ぎ

状況共有

- ・被災地での新たな福祉避難所開設、1.5次のメイン・サブアリーナにおいて、福祉機能に配慮した空間設計に基づく立上げ
- ・1.5次のメイン・サブアリーナへの避難者のチェックイン時のアセスメント・適切な場所への誘導

⑧被災市区町村や避難所管理者との連携

⑨他職種との連携

⑩被災地域の社会福祉施設等との連携

連携調整

- ・被災福祉施設への支援ニーズ調整・支援者の派遣
- ・2次避難所の確保

災害時の福祉支援体制の整備に向けたガイドライン

(2) チームの活動内容

現在のガイドライン

R6能登半島地震をふまえての項目案

①福祉避難所等への誘導

被災者の直接支援

②災害時要配慮者へのアセスメント

③日常生活上の支援

④相談支援

⑤避難所内の環境整備

状況共有

⑥本部、都道府県との連携調整、
状況等の報告

⑦後続チームへの引き継ぎ

連携調整

⑧被災市区町村や避難所管理者との連携

⑨他職種との連携

⑩被災地域の社会福祉施設等との連携

①福祉避難所等への誘導

被災者の直接支援

②災害時要配慮者へのアセスメント

③日常生活上の支援

④相談支援

⑤避難所内巡回等による支援活動

⑥災害関連死の予防につながる活動

福祉避難所の立上げ・整備

⑦福祉避難所の立上げ

⑧福祉避難所受入れ時アセスメント

⑨避難所の環境整備

状況共有

⑩本部、都道府県との連携調整、
状況等の報告

⑪後続チームへの引き継ぎ

連携調整

⑫被災市区町村や避難所管理者との連携

⑬他職種との連携

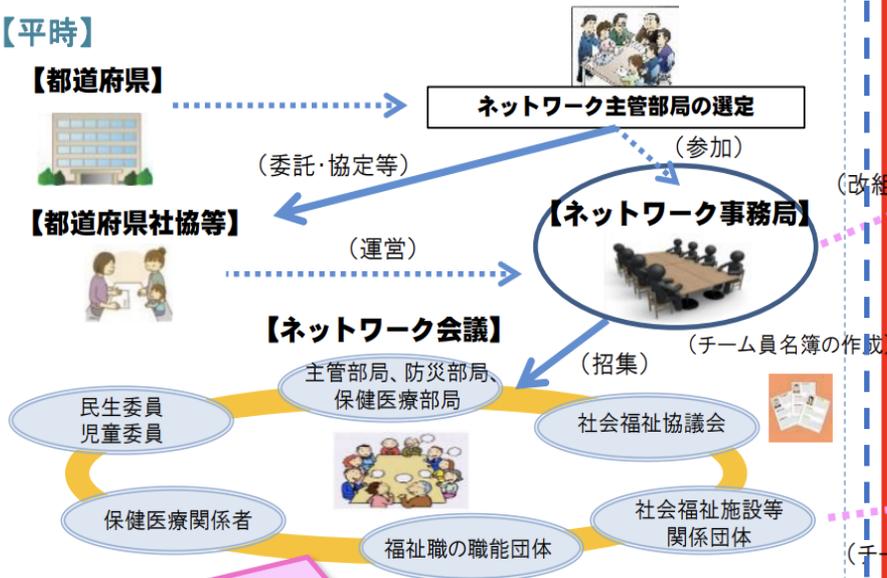
⑭2次避難所(福祉施設)の連携調整

「災害時の福祉支援体制の整備に向けたガイドライン」の概要

(平成30年5月31日付け社援発0531第1号社会・援護局長通知)

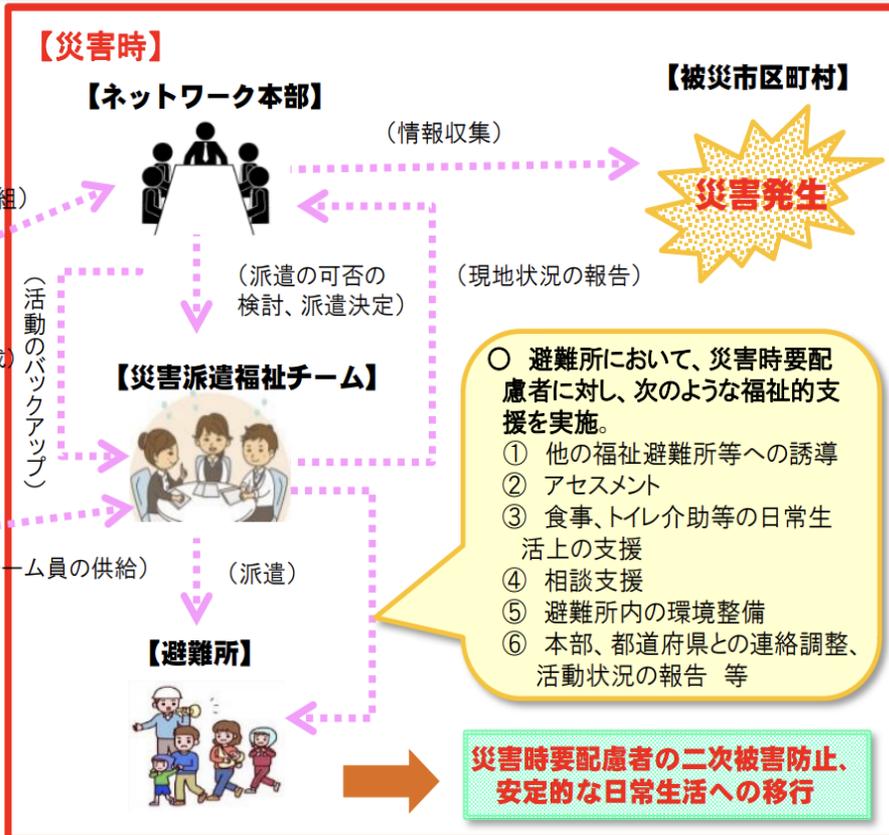
- 近年の災害においては、高齢者や障害者、子ども等の地域の災害時要配慮者が、避難所等において、長期間の避難生活を余儀なくされ、必要な支援が行われない結果、生活機能の低下や要介護度の重度化などの二次被害が生じている場合もあり、これら災害時要配慮者の避難生活中における福祉ニーズへの対応が喫緊の課題となっている。
- このような状況を踏まえ、災害時において、災害時要配慮者の福祉ニーズに的確に対応し、避難生活中における生活機能の低下等の防止を図るため、各都道府県において、避難所で災害時要配慮者に対する福祉支援を行う「災害派遣福祉チーム」を組成するとともに、避難所へこれを派遣すること等により、必要な支援体制を確保することを目的として、官民協働による「災害福祉支援ネットワーク」の構築に向けた取組を推進するためのガイドラインを策定する。

【平時】



- ネットワーク会議を活用し、災害時における活動内容等をあらかじめ整理。
 - ① チーム組成の方法、活動内容
 - ② チームの派遣決定及び情報収集の方法
 - ③ 災害時における関係者の役割分担
 - ④ 災害時における本部体制の構築
 - ⑤ 費用負担
 - ⑥ 保健医療関係者との連携
 - ⑦ チーム員に対する研修・訓練
 - ⑧ 住民に対する広報・啓発等

【災害時】



- 避難所において、災害時要配慮者に対し、次のような福祉的支援を実施。
 - ① 他の福祉避難所等への誘導
 - ② アセスメント
 - ③ 食事、トイレ介助等の日常生活上の支援
 - ④ 相談支援
 - ⑤ 避難所内の環境整備
 - ⑥ 本部、都道府県との連絡調整、活動状況の報告等

災害時要配慮者の二次被害防止、安定的な日常生活への移行

※ 上記は、あくまで標準的な在り方であり、都道府県の実情を踏まえつつ、ネットワークで検討の上、必要な変更を加えていくことが期待される。

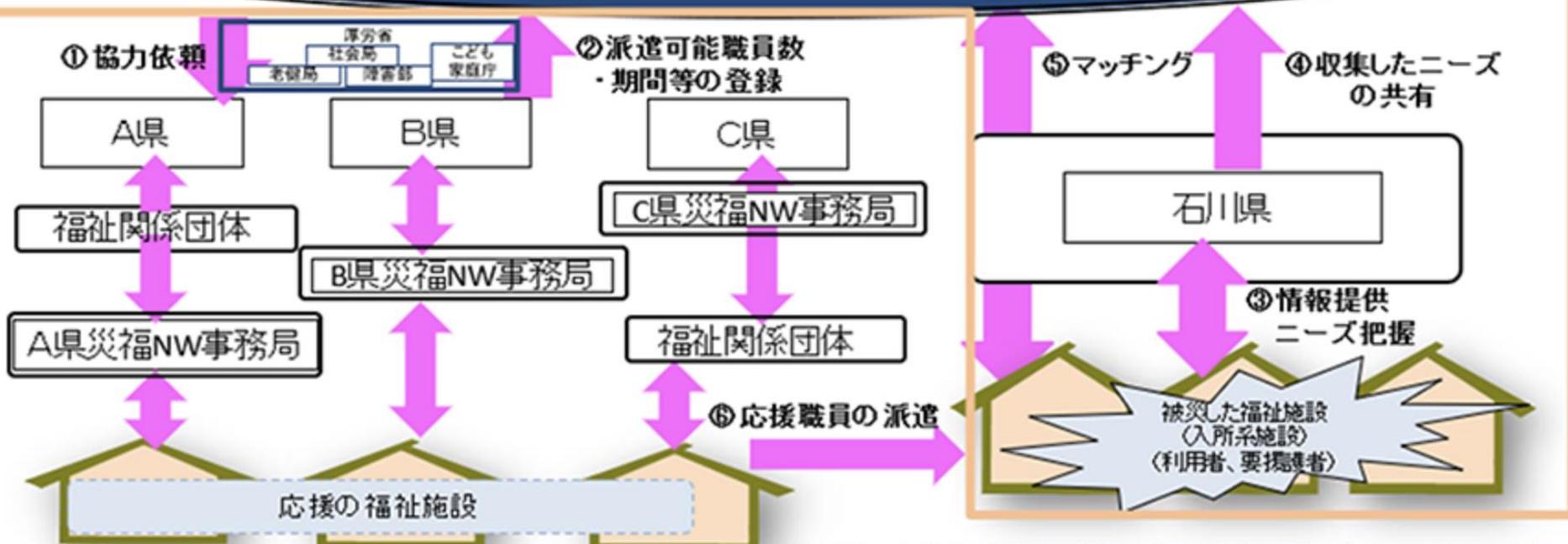
令和6年能登半島地震における介護職員等の応援派遣について

- 被災地域における社会福祉施設の入所者等の生活を確保するため、「災害福祉支援ネットワーク中央センター」(中央センター)等の場を活用した体制の整備・介護職員等の広域的な派遣体制を構築する。
- 各県において派遣可能職員の登録にあたっては、避難所へのDWAT派遣や各福祉関係団体による被災施設応援派遣が連携して対応するために、DWATの派遣調整を行う「各県災害福祉支援ネットワーク」と情報を共有して実施できる体制を構築し実施する。
- 厚生労働省・中央センターにおいて、他県からの応援派遣可能な介護職員等数の情報を集約し、被災県において、受け入れニーズを把握した上で、全国組織団体の協力を得つつ、マッチングを行う。

厚生労働省・災害福祉支援ネットワーク中央センター(全社協)

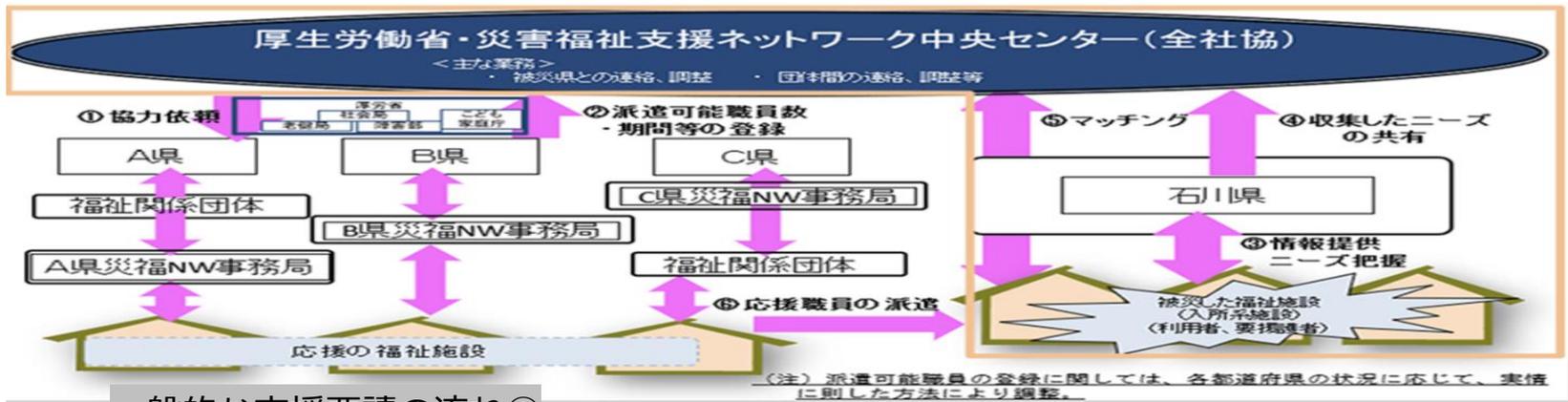
<主な業務>

・被災県との連絡、調整 ・ 団体間の連絡、調整等



(注) 派遣可能職員の登録に関しては、各都道府県の実情に応じて、実情に則した方法により調整。

現在の体制

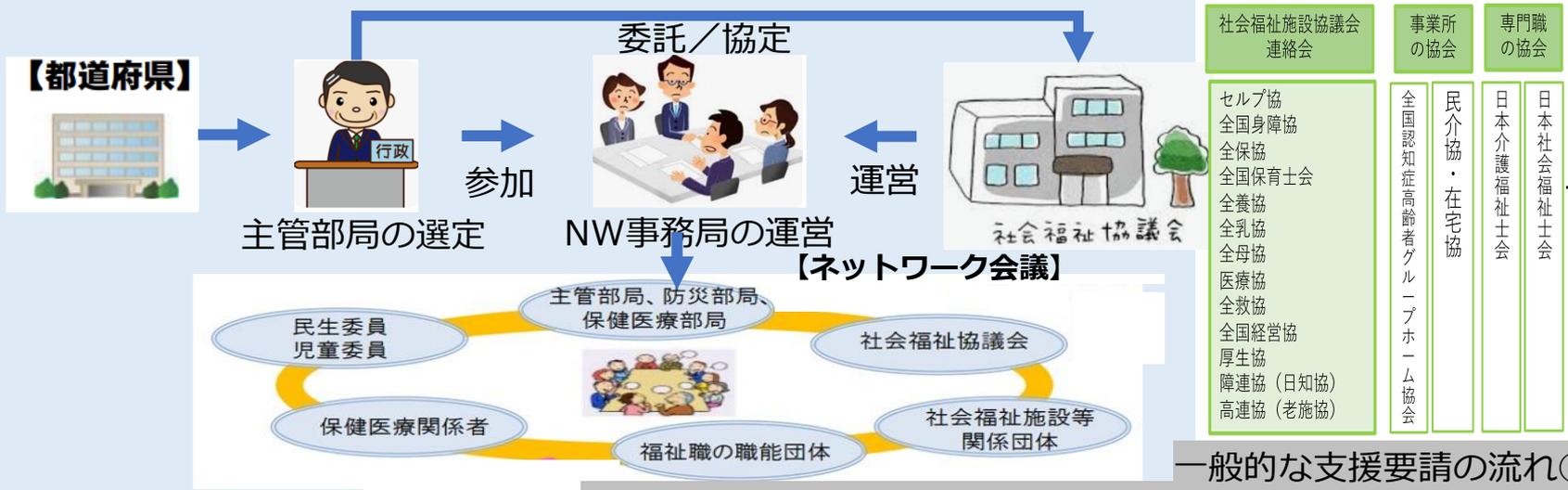


一般的な支援要請の流れ①

厚労省→ネットワーク事務局に派遣依頼→各県の担当部署に連絡→県社協→各施設に派遣要請

施設
応援職員派遣

平時



避難所
応援職員派遣



一般的な支援要請の流れ③

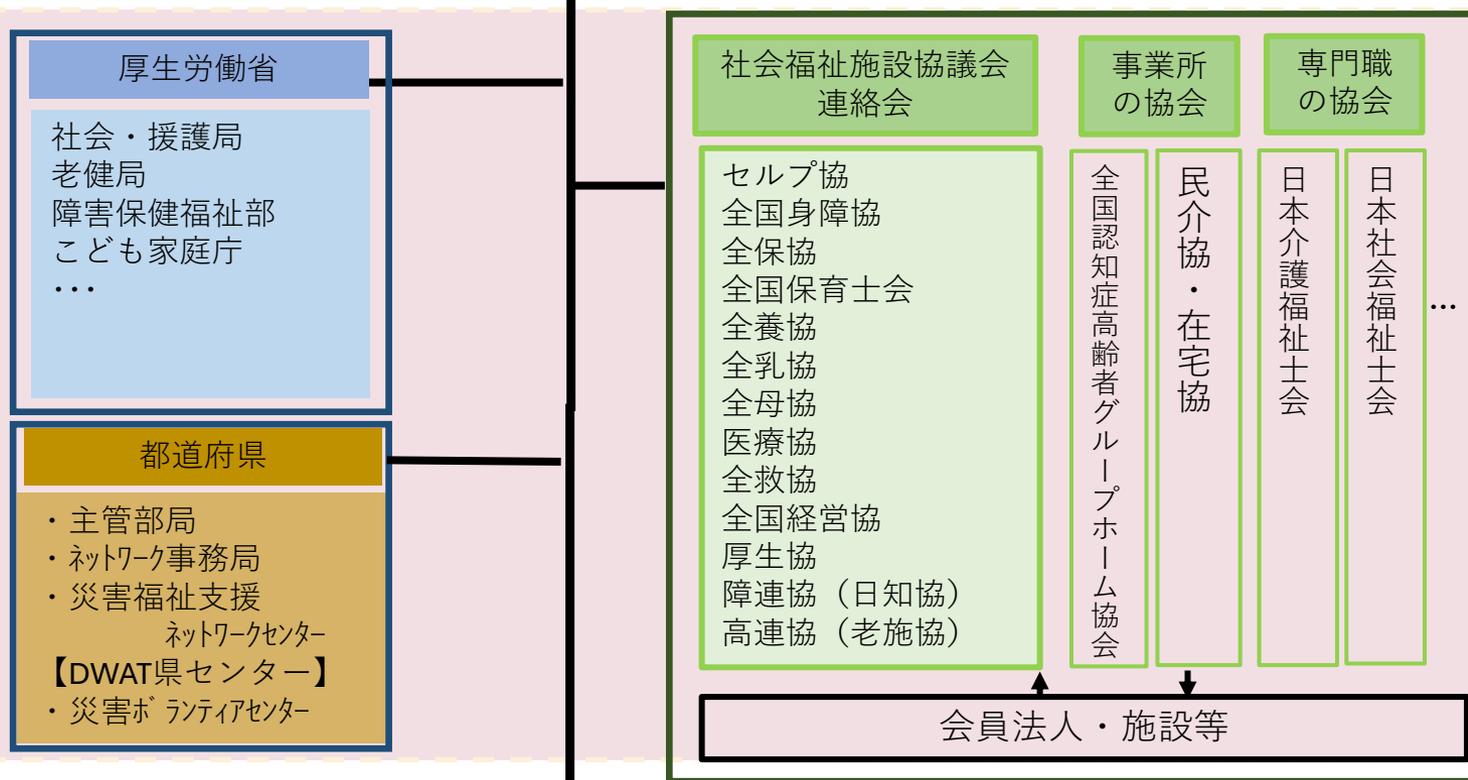
厚労省・全社協ネットワーク中央センター→県ネットワーク事務局に派遣要請→DWAT登録者に直接派遣要請

**DWAT中央センター
統合調整本部機能**

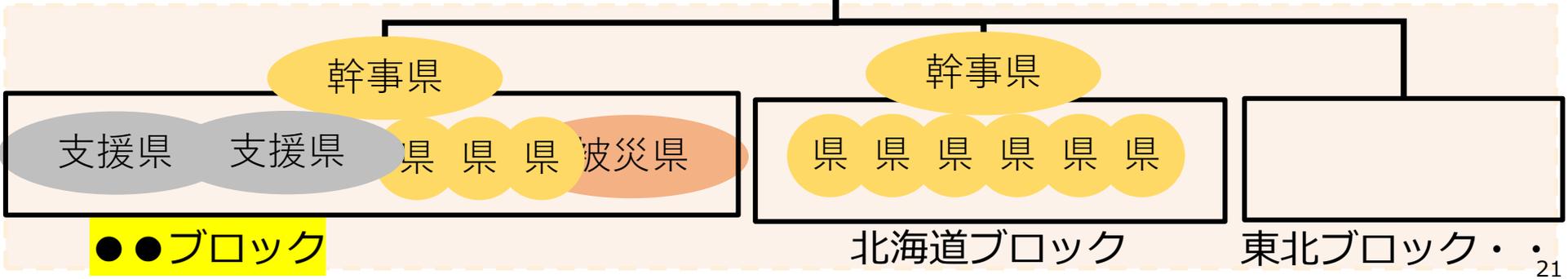
- 複数の機関、管轄区域に関わる対応について、全ての組織の目標を1つの計画に整理
- 効率的で調整された対応を実現
- 応援派遣を募る際の煩雑さを軽減

**現地DWAT本部
派遣調整の司令塔**

- 被災県において状況把握・方針決定・応援要請・調整

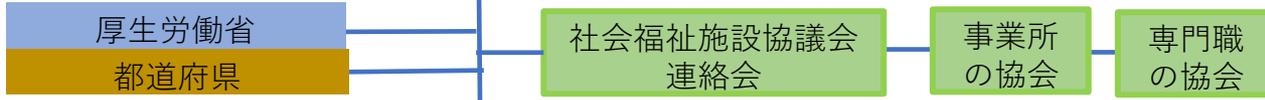


災害時設置： ●●地震●●県【現地DWAT本部】



常設：災害福祉支援ネットワーク中央センター【DWAT中央センター】

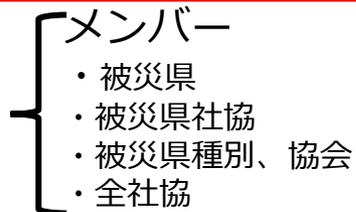
今後の
体制案



災害時設置： ●●地震●●県 【現地DWAT本部】 被災県調整

主な機能

- ・調整
- ・方針決定支援
- ・活動計画策定



オペレーションチーフ

(支援活動)

A地域

大規模避難所

リーダー

リーダー



A-1 避難所



A-2 避難所



【災害派遣支援チーム】

災害福祉支援に必要な機能

現場で直接的に支援活動を行うチーム

マネジメントチーフ

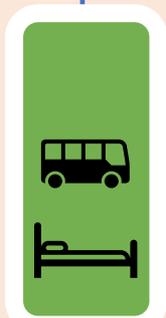
リーダー
ロジ
(資源管理)

リーダー
プランニング
(情報計画)

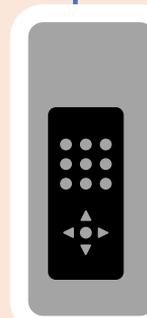
リーダー
事務処理



人的資源／資機材
調整・確保



情報のとりまとめ
派遣計画策定



経費のとりまとめ
事務手続き



災害対応に必要な機能

本部の意思決定を支えるスタッフ機能

派遣スキームの整理

・派遣要請のわかりにくさ

派遣場所

- ・被災施設
- ・被災地避難所
- ・1.5次避難所(金沢以南)
- ・2次避難所(金沢以南)

要請元

- ・県DWATから声かけ
- × 種別協から声かけ
- ・専門職の協会から声かけ
- ・1.5次避難所(金沢以南)
- ・2次避難所(金沢以南)

・派遣名称のわかりにくさ

- ・狭義の「災害福祉支援(DWAT)」
→県のネットワーク事務局に登録した介護福祉人材
- ・広義の「災害福祉支援(DWAT)」
→種別協、専門職の協会からの声かけ、事業者間の協定
や依頼

災害福祉支援(DWAT)の整理

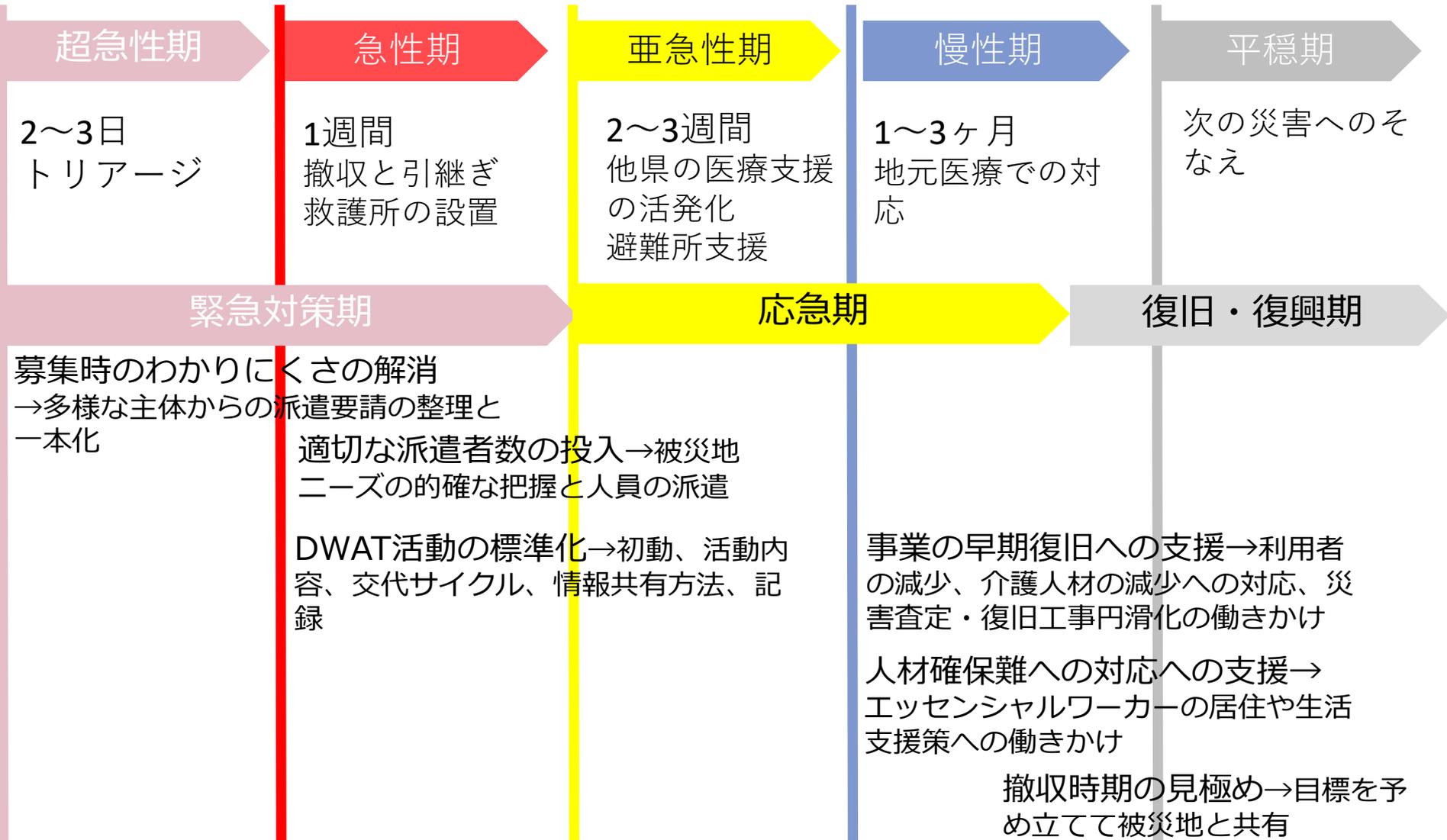
■被災者・災害対応関係者にわかりやすい名称・整理を心がける

例

- ふくしチーム せんけんたい
- ふくしチーム みまもり・そうだん
(1次/1.5次/2次)
- ふくしチーム かいご
(1.5次/2次でケアを実施)
- ふくしチーム スタッフ
(ロジ、情報計画、事務)



災害福祉支援において今回の応援派遣で見た課題



費用精算方法の事前の提示、応援派遣の人材費の取扱いの改善→求償の手続きや費目の考え方の整理、人件費が災害救助費と介護報酬で分かれる、自施設の入所者への対応の場合、被災施設が介護報酬収入から支払わねばならない、被災して休業してるが退職していない場合、応援派遣を受けると応援派遣分の人件費と休業している職員への人件費を支払うことで、応援派遣分は追加の支出となり、負担が大きくなる。

1. DWAT災害対策委員会（仮称・常設）の設置

- ・ 災害応援派遣の経験と教訓検証を実施
- ・ 検証に基づき以下を実施
 - ① 被災者・災害対応の状況に応じた相談援助、介助、日常生活支援、アセスメント等の災害福祉支援のあるべき姿の検討
 - ② 業務の標準化
 - ③ 共通マニュアルの検討
 - ④ 全国共通研修プログラムの検討

2. DWATをめぐる災害法制や社会福祉法を整理し、平時から災害時へとシームレスな活動を実現させる

- ・ (常設)災害福祉支援センターを中央(全社協)及び各都道府県社協に設置する
- ・ 人員の確保：専任・兼務人材の確保
- ・ 財源の検討：中央（国庫委託費）、都道府県（地方交付税、災害救助費）
- ・ (災害時) ●●地震▲▲県【現地DWAT本部】

3. 今後の活動範囲の拡大検討

- ・ 応急期：安否確認（在宅避難者、車中避難者）に基づくアセスメントと支援調整
- ・ 応急～復旧期：（建設・借り上げ）仮設住宅・仮住まい者へのアセスメントと支援調整

4. DWAT活動と災害ボランティアセンターの連携強化

- ・ ボラセンにDWAT活動支援機能をもたせる
- ・ 支援拠点設置、ロジ（車両借上げ（バス等）、消耗品）
- ・ 全国の社協からの支援員の投入
- ・ 必要経費（人件費、旅費等）の財政的裏付けの検討

被災地支援活動従事者の損害保険について

参考：今回導入した保険

【1】被災地支援活動従事者向け傷害保険（国内旅行傷害保険）

日本国内の被災地に派遣されてから帰宅するまでの間、出張中のケガ等による損害を補償します。

（補償対象となる事故の例）



- ◆ホテルの階段で足をすべらせてケガをした。
- ◆店舗にて商品を破損してしまい、弁償した。
- ◆地震で家屋が倒壊し、近くを歩いていてケガをした。

（保険金額）

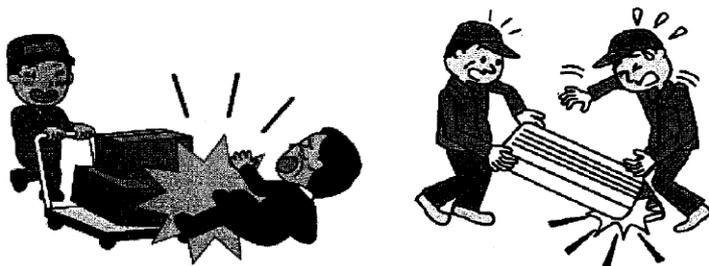
死亡・後遺障害保険金	30,000 千円
入院日額保険金	6,000 円
通院日額保険金	4,000 円
個人賠償責任保険金	100,000 千円

※24 時間補償・天災危険担保

【2】被災地支援活動に伴う賠償責任保険（施設賠償責任保険）

被災地にて、社協管理・監督下における業務遂行に関して生じた事故により、他人の身体の障害または財物の損壊について、法律上の賠償責任を負担することによって被る損害を補償します。

（補償対象となる事故の例）



- ◆荷物を搬送中に通行人にぶつかり、ケガをさせた。
- ◆什器備品を搬送中、落として破損させてしまった。

（保険金額）

対人賠償保険金	100,000 千円
対物賠償保険金	100,000 千円

※免責金額なし

※人格権侵害担保・被害者対応費用付帯

・事故対応特別費用付帯

参考資料

- スライド3枚目

*<https://www.bosai.yomiuri.co.jp/biz/article/14078?paged=3>

防災ニッポン,能登半島地震ではどんな建物が壊れたのか？日本建築学会5700棟調査で見えてきたもの, 2024/08/16

**福祉避難所の開設、令和6年能登半島地震における避難所運営の状況,内閣府（防災担当）令和6年能登半島地震に係る検証チーム（第3回）